

## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 技研ホールディングス株式会社  
コード番号 1443 URL <http://www.giken-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 ベジ

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 佐々木 ベジ

TEL 03-6635-1839

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,935	7.7	394	9.9	531	12.1	343	11.2
2023年3月期第3四半期	4,264	27.8	358	40.7	474	27.7	308	25.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,035百万円 ( %) 2023年3月期第3四半期 264百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	21.16	
2023年3月期第3四半期	19.02	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,942	10,554	62.3
2023年3月期	15,725	9,535	60.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 10,554百万円 2023年3月期 9,535百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		1.00	1.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	8.8	400	3.5	500	3.4	320	2.8	19.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	16,237,977 株	2023年3月期	16,237,977 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,184 株	2023年3月期	2,685 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	16,235,113 株	2023年3月期3Q	16,235,628 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第3四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による資材価格の高騰もありますが、インバウンド効果による国内消費の回復もあり、景気の持ち直しの動きがみられました。一方でガザ地区の紛争やウクライナ情勢が続いていること、中国の景気不安など、世界情勢は依然として予断を許さない状況が続いております。当社グループの主要事業である建設業界におきましては、民間設備投資は一部回復傾向が見られるものの、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇のため受注競争が激化していることにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは、社会資本整備の一翼を担う企業集団として、自然災害の復旧支援、医療施設の改修事業等、国民の安全と豊かな暮らしの土台形成のための事業展開を行ってまいりました。

この結果、受注高につきましては、前年度の災害復旧工事による受注高の減少により前年同四半期比1.7%減の3,868百万円、売上高につきましては、前年同四半期比7.7%減の3,935百万円となりましたが、固定費用の削減等により、営業利益につきましては、前年同四半期比9.9%増の394百万円、経常利益につきましては前年同四半期比12.1%増の531百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同四半期比11.2%増の343百万円となりました。

当社グループの前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	2,901,643	3,936,163	4,264,872	2,572,935
当第3四半期連結累計期間	2,396,407	3,868,412	3,935,630	2,329,189

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### (土木関連事業)

法面保護工事が主体の当事業は、受注高につきましては昨年と同程度の推移に落ち着き、前年同期比0.8%減の758百万円、売上高につきましては前期繰越工事及び当期受注工事の進捗も伸び悩み、前年同期比52.8%減の510百万円、営業利益につきましては、前年同期比78.9%減の47百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	587,171	765,371	1,081,180	271,362
当第3四半期連結累計期間	255,267	758,905	510,124	504,047

#### (建築関連事業)

医療施設向けの放射線防護・電磁波シールド工事等が主体の当事業は、新築物件・改修工事等の物件数が減少しており、競業会社・同業他社との激しい価格競争の結果、受注高につきましては前年同期比6.8%減の1,978百万円、売上高につきましては前年同期比9.0%増の2,282百万円、営業利益につきましては、前年同期比22.1%増の274百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	2,058,682	2,122,525	2,093,944	2,087,264
当第3四半期連結累計期間	1,949,965	1,978,434	2,282,860	1,645,539

(型枠貸与関連事業)

消波根固ブロック製造用型枠の賃貸及びコンクリート二次製品の販売が主体の当事業は、災害復旧関連の公共事業の発注案件が増加した結果、受注高につきましては前年同期比6.1%増の1,074百万円、売上高につきましては前年同期比4.3%増の1,074百万円となり、営業利益につきましては、前年同期比64.5%増の299百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	148,129	1,012,086	1,030,147	130,068
当第3四半期連結累計期間	110,084	1,074,229	1,074,522	109,790

(その他)

その他の分野には、不動産賃貸事業、海外での事業等をまとめてその他としております。受注高につきましては前年同期比57.1%増の56百万円、売上高につきましては前年同期比14.3%増の68百万円、営業利益につきましては前年同期比79.6%減の3百万円となりました。

当セグメントの前期繰越受注高、受注高、売上高及び次期繰越高は以下のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第3四半期連結累計期間	107,659	36,179	59,599	84,239
当第3四半期連結累計期間	81,090	56,844	68,122	69,811

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,216百万円増加し16,942百万円となりました。増加した主な要因は、投資有価証券の時価評価額の増加等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ、197百万円増加し6,388百万円となりました。増加した主な要因は、前述の投資有価証券の時価評価額の増加に伴う繰延税金負債の増加であります。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加が692百万円、配当による剰余金の減少が16百万円、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が343百万円であったこと等から、前連結会計年度末に比べ、1,019百万円増加し10,554百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.7ポイント増加し62.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、業績が概ね予想通りに推移しているため、現時点では2023年5月19日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想の動向につきましては、引き続き精査を進めてまいります。受注動向、事業環境、繰延税金資産の回収可能性等を慎重に見極めつつ業績予想に修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。これらの業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	3,003,500	2,279,050
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	2,007,177	1,773,466
有価証券	233,921	229,626
棚卸資産	397,537	518,540
その他	36,106	124,299
貸倒引当金	△5,368	△7,414
流動資産合計	5,672,874	4,917,567
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,041,941	4,812,492
その他(純額)	1,452,167	1,440,044
有形固定資産合計	5,494,109	6,252,537
無形固定資産		
その他	115,726	84,833
無形固定資産合計	115,726	84,833
投資その他の資産		
投資有価証券	4,263,806	5,627,307
その他	229,260	119,894
貸倒引当金	△49,863	△59,433
投資その他の資産合計	4,443,203	5,687,768
固定資産合計	10,053,038	12,025,138
資産合計	15,725,913	16,942,706
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,551,034	1,335,143
1年内返済予定の長期借入金	553,055	608,048
未払法人税等	71,588	219,706
契約負債	50,992	100,852
引当金	37,333	13,842
その他	220,849	445,823
流動負債合計	2,484,852	2,723,416
固定負債		
長期借入金	3,566,434	3,323,661
退職給付に係る負債	91,803	105,878
繰延税金負債	1,267	197,536
その他	46,082	37,511
固定負債合計	3,705,587	3,664,587
負債合計	6,190,440	6,388,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,840	1,473,840
利益剰余金	7,087,776	7,415,093
自己株式	△709	△818
株主資本合計	9,680,907	10,008,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△122,270	570,098
退職給付に係る調整累計額	△23,164	△23,512
その他の包括利益累計額合計	△145,434	546,586
純資産合計	9,535,472	10,554,702
負債純資産合計	15,725,913	16,942,706



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,264,872	3,935,630
売上原価	3,269,105	3,019,446
売上総利益	995,766	916,184
販売費及び一般管理費	636,845	521,683
営業利益	358,921	394,500
営業外収益		
受取利息	137	419
受取配当金	105,115	165,706
助成金収入	18,409	3,082
その他	24,801	12,245
営業外収益合計	148,464	181,454
営業外費用		
支払利息	31,193	39,811
訴訟関連費用	—	4,151
その他	1,467	9
営業外費用合計	32,660	43,973
経常利益	474,724	531,981
特別利益		
固定資産売却益	55	—
投資有価証券売却益	—	27,649
特別利益合計	55	27,649
特別損失		
固定資産除売却損	456	454
特別損失合計	456	454
税金等調整前四半期純利益	474,323	559,176
法人税、住民税及び事業税	133,347	220,268
法人税等調整額	32,117	△4,644
法人税等合計	165,464	215,624
四半期純利益	308,858	343,552
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	308,858	343,552

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	308,858	343,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△564,595	692,369
退職給付に係る調整額	△8,339	△347
その他の包括利益合計	△572,935	692,021
四半期包括利益	△264,076	1,035,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△264,076	1,035,573
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたって認識する収益	1,081,180	1,871,648	—	2,952,829	—	—	2,952,829
一定時点で認識する収益	—	222,295	139,877	362,172	31,851	—	394,024
顧客との契約から生じる収益	1,081,180	2,093,944	139,877	3,315,001	31,851	—	3,346,853
その他収益	—	—	890,270	890,270	27,748	—	918,018
外部顧客への売上高	1,081,180	2,093,944	1,030,147	4,205,272	59,599	—	4,264,872
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,081,180	2,093,944	1,030,147	4,205,272	59,599	—	4,264,872
セグメント利益	222,919	224,442	181,833	629,195	18,421	△288,695	358,921

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△288,695千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
一定期間にわたって認識する収益	510,124	2,140,096	—	2,650,220	—	—	2,650,220
一定時点で認識する収益	—	142,764	124,983	267,748	20,501	—	288,249
顧客との契約から生じる収益	510,124	2,282,860	124,983	2,917,968	20,501	—	2,938,469
その他収益	—	—	949,538	949,538	47,621	—	997,160
外部顧客への売上高	510,124	2,282,860	1,074,522	3,867,507	68,122	—	3,935,630
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	510,124	2,282,860	1,074,522	3,867,507	68,122	—	3,935,630
セグメント利益	47,072	274,064	299,059	620,196	3,755	△229,450	394,500

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△229,450千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。